

平成31年 第1回

陸別町教育委員会会議録
(公開用)

自 平成31年2月7日

至 平成31年2月7日

陸別町教育委員会

平成31年 第1回 陸別町教育委員会会議録

招 集 の 場 所	陸別町役場 3階 委員会室			
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開 会	平成31年2月7日 午前 9時55分	教育長	野下 純一
	閉 会	平成31年2月7日 午前10時28分	教育長	野下 純一
委 員 の 出 席 及 び 欠 席 ○出席を示す ×欠席を示す	教 育 長	野 下 純 一	○	出席 4人 欠席 0人
	教育長職務代理者	石 橋 勉	○	
	委 員	西 岡 愛 則	○	
	委 員	小 木 育 子	○	
会議録署名委員	石 橋 勉			
説 明 の た め 会 議 に 出 席 し た 者 の 職 氏 名	次 長	有 田 勝 彦	主 任 主 査	遠 藤 克 博
	主 幹	瀧 口 和 雄		
	主 任 主 査	北 村 正 利		
職 務 の た め 会 議 に 出 席 し た 者 の 職 氏 名	主 任	角 谷 亮 輔		
会 議 に 付 し た 事 件	議案第1号—平成30年度教育費等補正予算案について			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

◎開会宣告

○野下教育長 　　ただいまより、平成31年第1回陸別町教育委員会会議を開会します。

◎会議録署名委員の指名

○野下教育長 　　本日の会議録署名委員は、石橋委員にお願いします。

◎事務報告

○野下教育長 　　事務報告を行います。

　　事務局から説明をお願いします。

○瀧口主幹 　　議案をお開きいただきまして、1ページ、事務報告は平成30年12月20日からの分でございます。

　　主なものを報告させていただきます。

　　管理関係でございますが、12月28日、陸別町第1回教育支援委員会を開催いたしました。これは現小学校2年生1人なのですけれども、情緒学級入級ということで、決定をしたところでございます。それで新しい学年でいきますと、3年生のお子様1人ということでございます。

　　それから、1月1日に陸別小学校に桜井紀夫校長が着任されております。

　　4日でございますが、陸別小・中学校の閉庁日と定めて、12月29日から1月4日まで7日間を学校閉庁日としたところでございます。この件につきましては、町内回覧をいたしまして、住民の方への広報に努めたところで、特段混乱はありませんでした。

　　1月15日、プログラミング教育研修会を陸別小学校で実施をいたしております。これは次期学習指導要領に規定されておりますプログラミング的思考を活用した教育を推進するためのものでございます。

　　それから、17日、高齢者叙勲の伝達を行っております。元陸別中学校長の八代仁郎氏であります。現在、帯広市在住でございます。この方が満88歳に到達をいたしまして、高齢者叙勲が該当になりました。瑞宝双光章を受章しております。野下教育長が帯広まで出向きまして、伝達をいたしたところでございます。

　　23日、陸別町教育委員の皆さんによります学校訪問と教育懇談会、その後、平成30年度第1回目の陸別町総合教育会議を実施いたしております。

それから、31日には、十勝教育局指導主事によります学校教育指導訪問が行われております。これが、今年度最後の指導訪問となっております。

それから、2月1日でありますけれども、陸別小学校の期限付教員の採用ということで、廣瀬裕子教諭が2月1日から欠員のところに着任をしたということでございまして、昨年6月4日で退職をいたしました千本先生の後任ということで、特別支援学級を担当しております。この方は期限付の経験が長く、子供の接し方が上手ですということで、校長の評価も既にいただいているところでございます。

以上でございます。

○北村主任主査 社会教育関係の事務報告をいたします。かいつまんで報告を申し上げます。

1月3日ですが、平成31年の陸別町成人式を行いました。式典には14名参加でしたが、祝賀会には急遽、当日参加したいという申し出がありまして、対象者でしたので受け入れることにしまして、15名となっております。

1月8日から11日まで、冒険体感inとうきょうの事業がありました。参加者が、小学6年生全員の15名となっております。

次のページに行きます。

1月19日のほうの二つ目、陸中の土曜授業の4回目がありました。これにつきましては学力コンクールが1、2年生で、行政相談と町長講話が3年生ということになっております。

29日ですが、陸別町PTA連合会の研修会、教育講演会が陸別中学校で行われました。これにつきましては、保育所、小学校、中学校の保護者のほうから参加が得られております。また、中学生全員がこの研修を受けております。講演内容は、長原配送という帯広の会社があるのですが、そこの社長であります長原和宣さんの講演をいただきました。「夢の叶え方」という題名で講演会を行っております。

社会教育は以上です。

○遠藤主任主査 社会体育関係です。

12月26日、町民スケートリンクがオープンしました。年明け1月8日には町民スキー場がオープンしています。それに伴ってスケート教室・スケート大会・スキー教室等を開催しております。

2月に入りまして2日、少年野球教室ということで、小学校体育館で行っております。講師は、何回か陸別に来ていますけれども、日産自動車の方で、元野球でオリンピックに行った方、黒須隆さんという方が来ていただいて、16名、指導いただいております。

以上です。

○有田次長 では、今後の予定について、私のほうから説明をさせていただきます。抜粋させていただきます。

2月7日、今日でありますけれども、6年生の中学校1日体験入学及び入学説明会は、中学

校で開催をいたします。

明日ですけれども、今度は小学校で新しく入る1年生の体験入学と入学説明会があります。このときにつきましては、教育委員会から私と瀧口主幹が出向きまして、教育委員会でやっている事業等について、説明をさせていただきたいというふうに思っております。

それから、今日チャレンジクラブということで毎年やっているのですが、2月8日から28日まで、今回は6種目ということで、今まで陸上以外で5種目でやっていたけれども、今年については陸上を新たに組みまして6種目で、今のところは参加者6人ほどでありますけれども、体験でいろいろとスポーツを学んでいただくという予定となっております。

3ページ、ごらんください。

3ページは、2月15日でありますけれども、教育長が教育長会議に出向きまして、31年度の当初一般教職員の人事異動に係る二次協議に参加するという予定となっております。

2月22日でありますけれども、新年度から取り組む予定の小中一貫教育推進委員会に向けての第2回の役員会、23日には小学校、本年度最後の土曜授業を開催いたします。

26日には、第3回の陸別町の保小連携連絡会推進会議を実施いたします。

28日には、小中一貫教育推進事業の報告会兼コミュニティ・スクール導入説明会を中学校で開催を予定しております。

以上です。

○野下教育長 事務報告について質疑を行います。ありませんか。

○石橋委員 質問ではないのだけれども、3月と4月の予定で主なやつ、わかっていたらちよつと。

○有田次長 会議終わりましたから、また別途日程等を配付させていただきます。

○野下教育長 ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

◎報告事項

○野下教育長 次に、報告事項についてですが、私のほうからは特記事項については今回ございませんので、報告については終わります。

◎議案審議

○野下教育長 次に、議案審議に入ります。

議案第1号、平成30年度教育費等補正予算案についてを議題とします。

事務局より提案理由の説明を願います。

○有田次長　それでは、4ページごらんください。

議案第1号平成30年度教育費等補正予算案について。

平成30年度教育費等補正予算を別紙のとおり陸別町長に提出するものとする、であります。

提案の理由でありますけれども、既定予算を補正する必要性が生じたためでありますけれども、3月開会を予定しております議会の3月補正予算の締め切りが、一応本日というふうになっておりますので、管理担当、社会教育、社会体育、給食、それぞれから歳入歳出の補正予算を今回提案するということでもあります。一部を除きまして、ほぼ確定見込みによる減額ということで、御了解をいただければというふうに思います。

それでは、各項目担当ごとにそれぞれ説明をさせたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○瀧口主幹　まず、管理担当から申し上げます。

5ページをお開きいただきたいと思います。

こちらのほうは歳入でございますが、上の表なのですけれども、教職員住宅貸付収入の減額13万2,000円でございます。これは昭和49年建築の住宅のうち2戸が1年間ずっと未入居ということで、その分を減額したいとするものでございます。

その下につきましては、奨学資金償還金の減額でありまして、15万円の減額です。当初は実7名の償還額で見えておりました。68万4,000円見ておりましたけれども、そのうち新しい奨学資金の制度によりまして、償還猶予をされた方が1名おります。その分が15万円ということで、歳入から落とすということになっております。

次、飛びまして7ページをごらんください。

こちらから歳出の予算でございます。

こちらは、まず上の表であります、教育委員会費の費用弁償でございますが、これは北海道市町村教育委員研修会などの出席委員が固まって確定によります減額ということで、マイナス3万3,000円であります。

その下であります、教育振興費の謝礼金であります、合わせて10万円の減額でございますが、右側に内容が書かれていますとおり、言語聴覚士の謝礼が当初5回見ておりましたが、2回分で足りるということ。それからその下、CAPプログラム講師謝礼、これはキャップと呼びますけれども、CAPプログラムの講師謝礼の確定による減額ということでございます。

このCAPプログラムにつきましては、子供たちが自分自身で自分の身を守るというような講習会の内容になっておまして、児童向け講習会、保護者向け講習会、教職員向け講習会ということで、三つに分けて実施をしたところあります。

それからその下、児童健康診断で1万5,000円の減額ですが、これは新入学児童の健康診断で、21人見ておりましたが、17人確定ということで、その分の減額でございます。

8ページに参ります。

こちら賃金でございますが、学習支援員の賃金トータルで26万6,000円を減額するものであります。内訳につきましては、右側にありますとおり、学習支援員、特別支援補助員、学習支援員で英語科なのですけれども、これは中学校の英語科の先生が病気休職に入りましたために、その間、冒頭期限付の先生を雇用する前に支払った経費ということになっております。

それから、その下でありますけれども、英語指導助手招へい事業に関わります普通旅費であります。現在おりますALT、ビル先生に関わるものでありまして、ビル先生が30年度来日したときの旅費などが確定いたしましたので、5万8,000円の減額。その下も同様なのですが、負担金ということなのですけれども、これはカナダから日本までの渡航負担金ということで、按分にかかる費用でございますが、これが確定によりまして5万4,000円の減額となっております。

それから、次のページ、9ページに参ります。

こちらは小学校に関わる経費でございます。一番上が電話料、これは見込みにより増額をさせていただきたい、3万7,000円となっております。

それから委託料、それから19節の人間ドックの助成というこの項目につきましては、実は12月の補正予算に予算要求をして、査定で落とされたものであります。細かい数字ということで落とされたのだと思うのですけれども、再度、今回要求をするということになっております。

新たなものとしては、14節の複写機使用料、コピー代であります。これが大幅に見込みで余るということで、13万円の減額でございます。

次、10ページに参ります。

こちらは小学校に関わるコンピューターの整備事業の消耗品費の減額19万4,000円あります。これは現4年生、小学4年生が当初の見込み22名ということでおさえておりましたけれども、転校・転出がありまして20名になりました。したがって、その分の2人分が減った分、この教材用コンピューターの経費が要らなくなったということで、2名分の減額で19万4,000円となっております。

それから、その下は小学校に関わります給食費補助事業でございます。この補助金が年度末につきまして、見込みが立つようになりましたので、その分確定で見込みということで25万2,000円ほど減額をしたいとするものでございます。

11ページ、こちらは今度、中学校費になります。

中学校も小学校同様に、電話代がちょっと足りないよということで見込んでありまして、3万9,000円の増額。あとは減額ばかりであります。13節と19節につきましては、先ほど小学校同様、一度、町のほうに申し出ておりますけれども、査定落ちしましたのでもう一度出したいとするものでありまして、複写機使用料のコピー代につきましては、小学校同様見込みによりまして減額としますが、額面は8万5,000円というふうになっております。

その下、12ページですが、こちらは中学校の給食費の補助事業でございます。これも年

度末になりまして見込みが立ったので、25万4,000円を減額したいとするものでございます。

管理は以上です。

○北村主任主査 社会教育でございますけれども、12ページの中ほどから説明を申し上げます。

まず、経常経費の社会教育ということで、社会教育委員の報酬でございます。これは社会教育委員の報酬、費用弁償ともに減額でございますが、まず、委員報酬が2万6,000円の減、これは研修参加の減ということで、3月の会議まだありますので、見込み減ということにさせていただきます。

費用弁償の1万7,000円の減も同様の理由でございます。需用費に移ります。

消耗品費ですが、これは研修資料代、全道大会の研修資料代が4人分見ておりましたけれども、2人しか参加しないということで、その分の減でございます。食糧費の1万円減は、これは全道大会の参加費、交流会の参加費があったのですけれども、これが不参加のためということで1万円の減でございます。

次のページ、13ページになります。

上のほう、成人記念事業の開催事業です。

まず、記念品ですが、5万5,000円の減、これは最初、対象者が34名だったのですけれども、出席者は式典14名ということで、その減です。確定減です。

それから、教育費交付金の9万7,000円の減につきましては、これは祝賀会に係る費用でございますが、同様に出席者は15名ということで、その分の確定減となっております。

続きまして、社会教育事業ということで説明をさせていただきます。

これは社会教育講座の関係の費用でございます。

まず、謝礼金の5万7,000円減でございますが、あと三つ講座を残しておりまして、その分を差し引いた見込みによる減でございます。この内容算定基礎の中に、「家教△1万2,000円ラフ+1,000円」というふうに、細かく書いてございます。家教は家庭教育、ラフはラフティング、ヒップHはヒップホップということで、それぞれ減額の内容を書いてございます。

それから、教育費交付金、ことぶき大学なのですけれども、その参加事業ということで2万6,000円の減でございます。これは移動研修の確定による減です。

14ページです。

ジュニアリーダー養成講習会参加事業ということで、交付金です。2万6,000円の減ということで、三つあるジュニアリーダー講習会のうち、一つだけ、銀河キッズというところを参加しましたので、あとの二つの分の減額ということでございます。

中ほどの社会教育用備品整備事業です。備品整備ということで、これは小学校にあります太鼓の整備をしております。確定しましたので、2万1,000円の減となっております。

一番下、冒険体感 i nとうきょうの費用弁償の関係ですが、費用弁償8万4,000円の減でございます。これは研修指導員、いわゆる小学校の先生2人分の費用弁償が確定しましたので、その分の減額となっております。

次のページへ行きます。15ページです。

上のほう、学童保育所指導員の設置事業ということで、普通旅費7万9,000円の減でございます。これにつきましては、研修が4回ございまして、そのうちの1回だけの研修会ということで、3回分の減ということで7万9,000円となっております。

学校支援地域本部事業、これは平日に行われる外部講師による小・中学校の授業となっておりますが、この普通旅費、つまり会議が札幌で行われる予定だったのですけれども、これと同じ内容のものが十勝で行われたということで、そちらに参加したので札幌へは参加していません。その分の減でございます。3万4,000円でございます。これは職員が行く旅費でございました。

それから、土曜授業、この推進事業ということで謝礼金です。2万3,000円の減ということで、先ほどこれからの予定もありましたように、2月23日に小学校の土曜授業があります。その分を除いての見込みの減となっております。

次のページ、16ページです。

公民館費でございます。公民館講座の謝礼金ということで2万円の減。陶芸教室2回行う予定だったのですけれども、10月に1回募集したのですが、これが参加者ゼロということで、今回も3月2日にまたもう1回やります。その分、2回のうちの1回だけの開催ということで、2万円の減となっております。

文化財に行きます。史跡周知・活用・維持管理事業です。施設周辺整備ということで1万8,000円の減です。これは、ユクエピラチャシ、いわゆる関公園の上にチャシがありますが、その草刈りが確定しましたので、その減となっております。

以上です。

○遠藤主任主査 社会体育関係ですけれども、16ページの下段からになります。

十勝管内スポーツ交流会の参加交付金ということで、1万6,000円の減額です。これは参加できなかった種目等があったためによるものです。

17ページに移ります。

上段は施設管理ということで、体育施設の管理の委託をしていますけれども、支出額の確定見込みということで2万7,000円の減額です。

中段ですが、臨時作業員の賃金ですけれども、こちらも支出額が確定見込みということで、15万円の減額です。

下段ですが、パークゴルフ場の整備事業ということで、現在も続いていますけれども、続いているというか工事は確定していませんが、パークゴルフ場の排水整備工事を行ってまして、こちらも事業費確定見込みということで、28万4,000円の減額です。

18ページです。

スキー場の整備ですけれども、スキー場の草刈り業務、こちら終了してしまして、確定による減額1万円です。

中段は、水泳プールの整備ということで、水質検査の減額1万3,000円。大プールのろ過ポンプ交換修繕、こちらも終了してございまして、確定ということで1万8,000円の減額です。

下段はスケートリンクの整備ということで、造成ですとか草刈り、あと維持管理、それらの事業の確定見込みということで、36万円の減額として設置しようとしております。

以上です。

○有田次長　それでは、最後に給食担当分ではありますが、6ページをごらんください。津幡所長が欠席しておりますので、私のほうから、かわりに説明をさせていただきます。

6ページ、給食担当、歳入の関係であります。

72万6,000円の減額になります。これ学校給食費ということで、町の補助金をもちまして、給食センターの歳入ということになっております。それぞれ小学生・中学生・保育所、それから各施設で勤務等している職員等に、四つに分かれておりますけれども、小学生の関係では26万3,000円の減額、中学生が26万8,000円の減額、保育所は15万6,000円の減額、職員が4万円プラスということになっております。

それぞれ確定見込みということでありますけれども、小学生につきましては1食240円、中学生につきましては1食290円、保育所につきましては1食160円、職員につきましては、各施設に勤務している場所によって160円から290円の納入をしているということでありますけれども、今回、小・中・保育所につきましては食数ですね、小学生は当初2万1,000食で予算見ておりましたけれども、今回確定見込みが1万9,908食ということで、1,092食の減額になりまして、この金額となっております。中学生につきましては、当初予算では8,200食で見ておりましたけれども、確定見込みが7,279食でありますので、921食の減額で、今回の減額となっております。保育所につきましては、当初、1万1,000食で見ておりましたけれども、確定見込みが1万28食でありますので、972食の減額で今回の減額となっております。

それから、雑入の社会保険料の個人負担金でありますけれども、7万9,000円の減額となっております。これは給食センター嘱託職員であります主任調理員が、昨年末、12月31日をもって退職をしております。理由的には、体調不良ということで勤務が続けられないということでありましたので、退職をしております。調理もなかなか重い物を運んで、結構重労働になりますので、体の負担が業務に耐えられないということで、年末に退職していることによる保険料の減額となっております。

続きまして、一番最後のページ、19ページ、歳出になります。

合計で35万1,000円の減額でありますけれども、共済費の社会保険料、これは歳入と

同じように主任調理員が、12月31日に退職したことにより見込みによる減額、15万3,000円の減額となっております。

それから、賃金、臨時技手賃金でありますけれども、これは給食の配送車の運転手分であり、年間264日見ておりましたけれども、見込みで約13日分が減額となりますので、今回、17万4,000円の賃金減額としております。

それから、普通旅費であります。2万4,000円の減額でありますけれども、職員の旅費で、一つは学校給食研究大会というのが毎年あるのですけれども、当初5人参加予定でありましたけれども、4人の1名減ということでそこで9,500円の減額。それから、給食センターのセンター長会議というのがありますけれども、札幌まで2泊3日で見えておりましたけれども、1泊2日ということで1万5,200円減額、合わせまして2万4,000円の減額ということで提案しているところであります。

説明は以上で終わりたいと思います。

○野下教育長 議案第1号の質疑を行います。ありませんか。

(「なし」の声あり)

○野下教育長 それでは、議案第1号について、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○野下教育長 議案第1号は、原案のとおり決定しました。

◎その他の事項

○野下教育長 次に、その他に入ります。

その他、ありませんか。

(「なし」の声あり)

◎閉会宣告

○野下教育長 以上をもちまして、平成31年第1回陸別町教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時28分

陸別町教育委員会会議規則第19条の規定により署名する。

会議録署名委員 石 橋 勉

会議録作成職員 角 谷 亮 輔